



**宮崎県**

**保健師現任教育マニュアル**

**改訂3版**



## はじめに

本県では保健師の人材育成に資するため、平成23年度からの6年間は、宮崎県立看護大学地域貢献等研究推進事業費を活用し、県立看護大、行政機関、宮崎県看護協会の協働による「保健師の力育成事業」を展開してきました。さらに平成29年度からの6年間は、県の事業として、関係機関との協働のもと現任教育を推進し、保健師の実践力・指導力の向上及び現任教育のシステム化に取り組んできました。

近年の急激な少子高齢社会の進展、保健医療サービス需要の増大、健康危機管理事象の甚大化により、地域保健を取り巻く状況は大きく変化しており、地域住民の健康を守る担い手である保健師には、より高度な専門性と実践力が常に求められています。さらに、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症への対応により、保健師の活動や保健師に対する期待や役割は、ますます大きくなっています。

現在、保健師免許取得までの教育背景や就職までの職務経験は多様化し、新任期からの計画的な人材育成が必要となってきました。また、業務分担や保健師の分散配置が進み、活動の幅が広がる一方、経験の共有や意図的なOJT、保健師活動の継承が難しくなってきました。このような状況に加え、コロナ禍にあつて、必要な経験ができないなど現任教育に苦慮した面もあったと思いますが、これらの経験も生かし、さらに組織として保健師の現任教育に取り組むことは重要であると考えます。

今回、前回のマニュアル改訂から3年が経過し、従来の段階別保健師研修の人材育成体系を最大限に活かしつつ、本県の保健師の実情を踏まえ、研修プログラムや現任教育体制等の見直しを行い、「宮崎県保健師現任教育マニュアル 改訂3版」を作成しました。

本マニュアルを活用し、各自治体の特性に応じた保健師の人材育成体制が推進され、個々の保健師が地域に責任が持てる保健師をめざし、地域保健活動の活性化や感染症や災害時等の健康危機事象対応も含め県民の保健・医療・福祉の向上に取り組んでいただくことを期待しています。

令和5年3月

宮崎県福祉保健部長 重黒木 清

## 目次

1	宮崎県保健師現任教育マニュアル策定の経緯と背景	1
2	キャリアラダーに基づく人材育成	4
	1) 各自治体におけるキャリアラダー	
	2) キャリアラダーに基づく現任教育	
	3) 保健師現任教育マニュアルとキャリアラダーの関連について	
3	宮崎県における保健師現任教育体系	5
	1) 宮崎県における保健師現任教育	
	2) 育ちあいの職場の風土づくり	
	3) 保健師としてのキャリアアップの方策	
4	段階別保健師研修	7
	1) 段階別保健師研修体系	
	2) 段階別保健師研修の特徴	
	3) 段階別保健師研修の推進体制	
	4) 段階別保健師研修の実施体制	
	5) 研修担当保健所の研修担当者の役割	
	6) 研修のタイムスケジュール	
	7) コンサルタントによる支援	
5	新任期保健師への現任教育	15
6	中堅期保健師への現任教育	26
7	リーダー期保健師への現任教育	33
8	記録の種類と活用方法	39
	1) 研修における各種記録	
	2) 記録の提出先	
	3) 研修ファイル等の活用	
9	保健師現任教育の評価	46
10	現任教育を進めるためのPDCA	48
11	保健所・市町村以外の分野で働く保健師の現任教育	48

12 保健師現任教育マニュアルの運用・活用	49
■PDCAサイクルに基づく保健師活動の展開	50
■保健師現任教育マニュアルの各期の目標・行動目標と宮崎県保健師のキャリアラダーとの関連	52
■参考文献	58
■記録様式集	59
様式1 研修を受講するにあたって	
様式2 学習カード	
様式3 私のプロフィール	
様式4 評価用紙	
様式5 私の保健師活動<アクションプラン>	
様式6 研究計画書	
様式7 最終報告レポート	
■保健師キャリアシート	86
■資料	87
本課経由で受講できる保健師研修概要	
■補足資料 保健師の力育成事業の活動実績	93
保健師の力育成事業の取組状況	
宮崎県保健師現任教育マニュアル検討委員会設置要綱（平成26年3月まで）	
宮崎県保健師現任教育推進委員会設置要綱（平成29年3月まで）	
宮崎県保健師現任教育推進会議設置要綱（平成29年4月から）	
宮崎県段階別保健師研修運営委員会設置要綱（平成29年4月から）	
保健師の力育成事業に関する活動の情報発信	
■巻末	
宮崎県保健師現任教育マニュアル改訂3版の発行にあたって	